



令和5年度 兵庫県立大学 生涯学習公開講座

【中小企業は地域の救世主!?

-ソーシャルビジネスから見る中小企業の新しいカタチ-

日時： 令和5年10月28日（土）13:00~15:00

受講者数： 7名

会場： 神戸学園都市 UNITY

講師： 国際商経学部 准教授 藤川 健

○テーマ・概要

この講座では、尼崎発のソーシャルビジネス「ふたごじてんしゃ」の事例を取り上げ、中小企業が地域で果たす新しい役割について学びました。ソーシャルビジネスの定義や社会的意義等を学んだあと、その成功のポイントが示され、受講者自らも考案にチャレンジしました。最後に、メガトレンドとの組み合わせなど新しい事業アイデアの創出方法が解説され講義が締めくくられました。

○内容

今回の講座は、ビジネスの手法を活用して、地域が抱える様々な社会課題の解決に取り組む「ソーシャルビジネス」についての解説から講義が始まりました。ソーシャルビジネスの定義と3つの要件(社会性、事業性、革新性)について確認し、これまでの成功例が示された後、ソーシャルビジネスの活動領域や多様な形態について話が及びました。

今回事例として取り上げられた「ふたごじてんしゃ」は、双子のママによる「双子が乗れる自転車」の企画・開発を軸に尼崎市で創業されました。尼崎市は、人口減少、事業所数の減少などの課題を抱え、これまで若者や子育て世代を対象としたシティプロモーションや、企業誘致などに力を入れてきており、「ふたごじてんしゃ」の創業も、市による創業支援制度がキーとなりました。また、企業とのコラボなどキーパーソンとのネットワークをうまく構築したこと、ソーシャルメディアの活用などがその成功の要因として指摘されました。最後は、講師からの「ソーシャルビジネスを考えてみよう」という問いかけで、受講者の皆さんが知恵を絞りました。続く質疑応答では、行政の創業支援などについて活発な議論が交わされました。(文責:生涯学習推進委員会)

